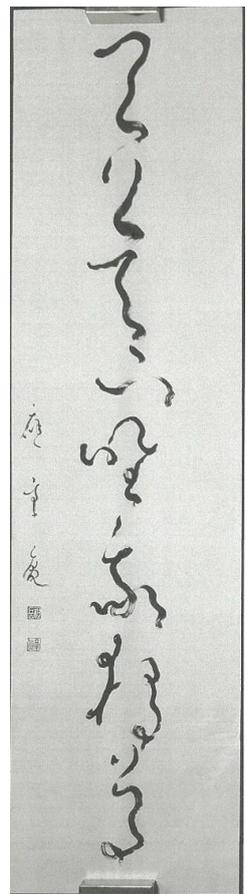


禅の墨蹟 (恭真書)



天上天下唯我独尊 お釈迦さまは生まれてすぐに七歩あるいて、天と地を指し、「天上天下唯我独尊」(どんな人も尊い目的を果たすために生まれてきた)と言われた。四月八日はお釈迦さまご生誕の日。

赤心片片 (せきしんへんぺん)

〈正法眼蔵 身心学道〉



赤ちゃんのように純粹無垢な心を「赤心」、
「片片」はすべての事象を言う。



大きくなるにつれ知恵がつき、嘘をついたり、他人を騙したり、物事を損得勘定で考えるようになる。赤ちゃんのようにすべてのことに無垢な心で、そして、正しい心で、どんなことでも真ごころをもって行動することのできる人間になりたいものである。

ニュース



歌う尼さん、やなせなさんの新しい本が出ました。読んでいるととても心がほっこりします。



またいつか美しい歌声が聞けたらと思っっています。

□梅花だより

玉とむすびて蓮葉に おきたる露の一票 なぎきは人の願ひにて 短きものは命なり

追善供養御和讃

子どもが成長していくにつれて自分は年を重ねていく。これが世のならない、いずればあの世とやらにまいらなければならぬ。今年母が十七回忌、父(先代住職)が十三回忌を迎える。亡くなられた人への一番の供養はこの世で精一杯生き抜くこと。「あなたのおかげで元氣でいますよ、頑張っていますよ」と毎朝お仏壇にご報告をしています。

沖繩の旅

第十七教区護持会主催

期日 十一月二五日〜二八日 (三泊四日)

旅費 十三万五千元

人数 六十名

〆切 八月末日(但し定員次第〆切)

*首里城・平和祈念堂・新湯の塔・ひめゆりの塔・玉泉洞・万座毛・識名園・今帰仁城跡・旧海軍司令部壕等

*詳細はお寺まで



仏事の知識

〈喪中に神社のお参りは慎む〉

「喪中に神社へ行ってはいけない、鳥居はくぐってはいけない」とよく聞く。一般論で言うところ、神道では、死は「穢れ」として忌み嫌い、喪中の参拝は神域に穢れを持ち込むことになるので慎むべきものとし、「鳥居をくぐってはいけない」のは神社の境内に入っただけでいいことを意味している。「喪中」は一周忌まで、「忌中」は亡くなって四十九日までの期間を言う。「忌中」は、死者の冥土への安らかなる旅を応援し故人を偲ぶことに心を尽くし、いろいろな行動は慎むべきであるとされている。「喪中」はほぼ制限がなくなるが、翌年賀欠礼とし初詣では遠慮した方がよい。ちなみに、お寺へは喪中、忌中関係なくお参りしても差し支えない。これは神道と仏教の死生観の違いからくるもの。

仏事の知識 ↓QRコード

